

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	26年度
事業名	地域介護予防活動支援事業	担当課	保健課	
細分化した事業名	地域介護予防活動支援事業			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
	政策	地域の絆を深める福祉社会の実現		
	施策	高齢者福祉の充実		
関連する個別計画等	介護保険事業計画	根拠条例等	介護保険法	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	介護予防に向けた取り組みに対し、高齢者が積極的に参加できる場の提供を行うとともに、地域における自主的な介護予防活動の育成、支援を行う。
事業の手段	いきいき貯筋クラブの実施 いきいき健口教室の実施 シニア健康サポーターの養成 介護支援ボランティアの養成
事業の対象	おおむね 65 歳以上の高齢者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	7,961	8,379	8,638
財源内訳	国・県支出金	2,985	3,141	3,239
	その他(使用料・借入金ほか)	3,383	3,476	3,585
	一般財源	1,593	1,762	1,814
B	担当職員数(職員E) (人)	0.38	0.38	0.28
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2591	2541	1817
D	総事業費(A+C) (千円)	10552	10920	10455
主な事業費用の説明	いきいき貯筋クラブの業務委託、いきいき健口教室の講師謝金、シニア健康サポーター養成研修、介護支援ボランティア事業委託料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
活動指標	1	いきいき貯筋クラブ	開催回数(回)	71	72	72
	2	シニア健康サポーター	養成者数(人)	81	90	99
	3					
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない					
上記活動指標と妥当性の説明	1	身近な公民館で高齢者が介護予防を目的とした運動を積極的に参加できる場を提供している。市内各地区公民館及び保健福祉センターを会場としている。				
	2	地域において介護予防活動に参加し、サポーター自身も健康増進や介護予防、生きがいづくりができ、さらに自主的な地域活動につながるよう支援している。				
	3					

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	いきいき貯筋クラブ1回当たり参加人数	1,110/71 15.6人	1,021/72 14.2人	1,077/72 15.0人
	2	シニア健康サポーター養成研修(活動報告会含む)1回当たりの参加人数	79/4 19.8人	139/5 27.8人	177/5 35.4人
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	身近な公民館で高齢者が介護予防を目的とした運動を積極的に行なう機会がある。			
	2	地域において介護予防活動を支えるシニア健康サポーターを養成し、自主的な住民主体の活動につながるよう支援している。いきいき貯筋クラブ終了後自主活動の運営を行っている。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) シニア健康サポーター養成研修は新規の申込み者だけでなく、継続のサポーターのフォロー研修も兼ねて実施し、サポーターの地域活動支援能力を高めて、いきいき貯筋クラブの活性化を図っていく。また、自主活動の継続支援も行なっていく。 いきいき貯筋クラブの周知方法は、事業が始まる時期に合わせ、前後半に分けてチラシの全戸配布を実施し、多くの機会をとらえて、事業のPR活動を実施していく。
過去の改善経過	地域介護予防活動支援事業においては、H17年度からいきいき貯筋クラブがスタートし、翌H18年度から地域住民による自主活動へ向けてサポーター養成研修を始めた。 いきいき健口教室はH22から始め、H25年度には、高齢者自身が活動を通じて、自身の健康増進や介護予防、生きがいづくりを目的とした介護支援ボランティア事業をスタートさせている。
課長所見	高齢者(一次予防)自らが、介護予防を目的として地域の住民主体の活動に積極的に参加できる環境づくり、また、地域活動の一翼を担うシニア健康サポーターの役割は、今後ますます要求され重要度も増すと考える。 因って、今後も両分野の充実を図っていくことが必要である。